

# 消費者講座

便利さに慣らされた暮らしを、もう一度見直し、ものを生かす生活をめざして「リフォーム」についての消費者講座を開きます。

▼とき 3月11日(木)、18日(木) 午後1時30分～4時

▼ところ 市民会館第1会議室

▼内容 3月11日(木)実習(ズボンからエプロン、シートからマットなど) 3月18日(木)講義(実習も含む)

▼講師 渡辺テロコ氏(環境アリス生活学校)

▼定員 50名

▼受講料 無料

▼申込方法 3月9日まで

市史編さん活動日誌から②

つておられる先生方から、市史編さんの過程で得られた向日市の新しい姿を話していただきます。

▼日時 3月6日・13日・20日・27日の各土曜日、いずれも午後3時～5時

▼ところ 市民会館第2会議室(6日のみ上植野公民館)

▼テーマ・講師 3月6日「古代史」井上満郎氏(京都産業大学教授)・13日「中世史」藤井孝氏(京都府立大学教授)・20日「近世史」長谷川澄夫氏(桃山高校教諭)・27日「近世史」金田章裕氏(追手門学院大学助教授)

※申し込みは不用です。お気軽にお越しください。

公民館サークル 学習発表会

中央公民館 3月6日(土)午前10時～午後4時 7日(日)午前10時～午後3時

▲作品展示・お茶席▼ ※お茶席は7日のみ

藤崎利雄氏 3月13日(土)午前10時～午後4時(作品展示) 14日(日)午前10時～午後3時(作品展示・お茶席)

▲作品展示・お茶席▼ ※お茶席は7日のみ

岩井三郎氏 3月20日(土)午前10時～午後4時(作品展示・手づくりコーナー(ひも人形))

歴史教室

市史編さん過程から新しい向日市の姿を見る

今年10月発行予定の「向日市史」編さんにたずさわ

# どうぞお越しください

## 藤崎・岩井両氏が 府スポーツ賞を受賞

第一回「府スポーツ賞」の功労者の部に、本市のスポーツ界に貢献された藤崎利雄氏、岩井三郎氏が受賞されました。

藤崎氏は、昭和34年、岩井氏は、昭和34年、




藤崎利雄氏 岩井三郎氏

## 57年度 交通災害共済 加入申込み

現在、市では交通災害共済の加入申込み受付中ですが、3月1日から、左表の出張受付も行いますので、まだ加入されていない方は、近くの場所へ手続きをお済ませください。

▼手続きは、掛金一人当たり3300円(3655円のうち35円を市が補助)を持ってお申込みください。

▼加入資格は市内に住んでおられる方で、住民登録または外国人登録をされている方なら、どなたでも加入できます。

▼共済期間は、昭和57年4月1日から同58年3月31日までの一年間で、傷害の程度により見舞金が支払われます。

【お問い合わせ】 生活環境課 内線2334

## 3月の行事予定

老人福祉センター

- ◇休館日 7日(日)・15日(月)・21日(日)・22日(祝)・29日(月)
- ◇お年寄りよろず相談 2日(火) 午後1時30分～3時30分
- ◇血圧測定 4日(木)・18日(木) 午後1時30分～3時30分
- ◇清掃の日 4日(木) 午前11時～11時30分
- ◇独居老人昼食会 5日(金)・19日(金) 午前11時30分～午後1時
- ◇高齢者職業相談 9日(火) 午前10時～午後4時
- ◇センター所長と利用者の懇談会 11日(木) 午後1時30分～3時
- ◇健康相談 12日(金)・26日(金) 午後2時～3時
- ◇老人セーフティクラブ 19日(金) 午後2時～3時
- ◇浪曲スライド 30日(火) 午後1時～3時



市史編さん活動日誌から②

物集女街道を北へ。車塚古墳をへて、しばらく行ったところ、道路のすぐ西側に、高さ三メートルほどの石碑が建っている。ちょうど物集女の集落の南の端に当たるところである。碑面の文字は少し読みにくくなっているが、「山本新次郎氏天資和厚……」にはじまり、地元の篤農家の同氏が、旭種(碑面には「朝日」とあり)とよばれるきわめて優秀な水稲の新品種を発見されたことを顕彰したものである。

山本新次郎氏は、嘉永二年(一八四九)京都市に生まれ、幼くして物集

# 近代日本米作史上の金字塔

## ＝水稲「旭種」の発見とその意義＝

佐々木高明(国立民族学博物館教授)

月にこの碑を建てたことが記されている。といっても、この山本新次郎氏による旭種という水稲新種の発見が、どれほどの意義をもつものだったのか。今日になっては知っている人も少なくなっている。が、それは大正時代から昭和十年代にかけて、西日本でもっともひろく栽培された、近代的水稲品種の開発の端緒をなす歴史的な事件だったということができ

女室ノ前二七の山本興平家の養嗣子となつた人である。篤実な人柄で農業に精励するとともに研究熱心で、優良種の選出や健苗の育成、肥料の実験なども試みていたという。明治四十一年、同氏は自宅付近の小作田に、当時もっともひろく栽培されていた日田種と神力種の稲をつくらしたが、その年は生育期間中は天候にめぐまれたにもかかわらず、開花期以後天候が悪くなり、秋にはほとんど稲が倒伏してしまつたところから、その中に倒伏しない株が一株だけあるのに気づいた。これが旭種のもとになった貴重な一株である。

同氏はその種子をとって翌年、翌々年と栽培をつづけたところ、在来種に比べて大へん良好な結果を得た。それを伝え聞いた近隣、近郷の人たちが、その種籾をもらい、けるようになり、この品種は「朝日」という名で急に広がった。府立農事

試験場(當時は佳にあつた)でも、早速その栽培を行い、明治四十四年に優良品種を認め、改めて「旭種」と名付けたが、さらに大正九年には正式に奨励品種に編入され、旭種は全国に広がる勢いを見せはじめたのである。この旭種が在来の稲に比べてすぐれた点は、在来種(例えば神力種や日田種)が種重型、つまり株の数が少なく、一つの穂に比較的多くの穀がつくタイプだったのに対し、旭種は穂数型、つまり穂につく穀の数はやや少なくても、株の分業(ぶんけつ)を多くすることにより増収をはかる稲だったという点である。大正、昭和初期以降、化学肥料の大量投入によって多肥農業の道を進みはじめた日本の米作にあっては、穂重型よりも穂数型の稲の方がより適した稲だったことは確かである。その上、食べて味がよくいとされたから、旭種は新しい優良品種として

注目され、各地でその改良種がつくられた。こうして西日本各地へ急速に拡がっていったのである。その栽培面積は、昭和七年には、三三万町歩、十二年には愛知・福岡・滋賀をはじめ、全国で約五〇万町歩以上におよび旭種は「米作界ノ王座ヲ占ムモノ」といわれるに至つた。

このように旭種は、近代日本の水稲を代表する品種の一つになるわけであるが、この旭種の最初の一株を発見した山本新次郎氏は、石碑の建てられる前年の大正二年二月に乙訓郡農会長より感謝状ならびに木盃を受け、さらに同三年三月には乙訓郡長より表彰状と金五円を受けられただけで、大正七年六月、七〇年の生涯を閉じられたのである。

向日町の生み出した、ある篤農のすばらしい業績を、市史編さんの機会に是非もう一度思い起こして頂きたいものである

# 出張受付開始! (10日まで)

交通災害共済加入手続き受付日程表

日時	午前9時30分～11時30分	午後1時30分～4時30分
3/1(月)	上植野公民館	
2(火)	物集女公民館	
3(水)	森本区事務所	
4(木)	鶴冠井公民館	
5(金)	西向日区事務所	向日区事務所
6(土)	京都信用金庫向日支店	コミュニティホール
10(木)	向日台団地集会所	寺戸区事務所

# アルバイト看護婦募集

市では、今年4月に開所する(仮称)乙訓休日応急診療所のアルバイト看護婦を募集します。

▶資格 50歳未満の有資格者(正・准看護婦) ▶募集人員 若干名

▶勤務場所 長岡京市今里北ノ町39-4 乙訓休日応急診療所

▶勤務日 日曜日、祝日、年末年始など年間約70日、なお、勤務日数については相談に応じます。

▶応募方法 3月1日(月)～10日(水)の午前8時30分から午後5時まで(土曜日は正午まで)に履歴書(写真貼付)、看護婦免許証(写)を持参のうえ、市役所1階健康管理課へお越しください。

※詳細については、健康管理課(電話931-1111 内線233)へお問い合わせください。

# ことば きこえの教室 ⑩

ことばと 人格形成

ことばの働きには三つあると言われます。(一)伝えあう。単なる伝達でなく「ことばに心をそえて」伝えあうコミュニケーションの働きです。(二)考えあう。物事を筋道だてて考えを深める思考の働き。(三)自分の行為を内からコントロールする。つまり自分に語りかけ自分の行動をまとめあげる自律の働きです。

この三つの働きをもつことばの力が育っていないと集団に入った時、さまざまな問題が生じます。人と交わるきっかけになることばを身につけていないと友達との関係

もうまくいかず、人の言うことをしっかろうけとめて自分の頭の中で深めることが弱くなり早合点で行動してしまふ。また自分をコントロールできにくいため、強情をハルだけでがまんのできにくいことが多くなります。このようなことは性格の問題でなくことばの力の問題といえます。

ゆたかに語り、じっくり考え、しっかやりきれる活動的な子どもに育てよう、私達は、あきらまず、あわてず、あきらめず援助していくことが大切でしょう。

今回で一応終わりましたが、もう一回ご愛読ありがとうございます。

ことば・きこえの相談 とき 毎週土曜日 午前中 ところ 第6回講小 電話934-0403